

| | |
|-----------|--|
| 1. 指定管理者名 | 公益財団法人 多治見市文化振興事業団 |
| 2. 指定期間 | 平成 28年 4月 1日 ~ 平成 33年 3月 31日 |
| 3. 業務の範囲 | (1) 学習館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 学習館の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 市民一人一人の学習・文化活動を支援促進し、市民文化の向上に寄与するために必要な生涯学習に係る事業の運営に関すること。 |

| 4. 採点表 | | 評価項目 | 細目 | 配点 | 採点基準 | 実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入) | 分析、評価、指示等 | 得点 |
|-----------------------|---------------|---|--|---|---|---|---|----|
| 1 | 運営・利用状況 (40点) | (1)利用状況(10点) | ①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間) | 5 | 平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 平均値比(99%)=利用率(30.8%)÷(31.1%)(上記(2)適用) | 平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 | 105%未満~95% 4点 年次報告書P.201(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H29年度実績)÷(過去1年間実績平均値)) 学習室101:38.8%(平均値比101% =38.8%÷38.3%) 学習室501北:31.4%(平均値比94% =31.4%÷33.4%) 学習室501南:46.2%(平均値比103% =46.2%÷45.0%) 学習室502:46.0%(平均値比103% =46.0%÷44.6%) 学習室503:24.2%(平均値比87% =24.2%÷27.8%) 学習室504:43.8%(平均値比110% =43.8%÷40.0%) 学習室505:36.8%(平均値比94% =36.8%÷39.0%) 学習室506:19.1%(平均値比98% =19.1%÷19.4%) 学習室401:25.2%(平均値比114% =25.2%÷22.1%) 学習室402:33.0%(平均値比108% =33.0%÷30.5%) 学習室403:13.1%(平均値比74% =13.4%÷18.1%) 視聴覚室:14.6%(平均値比87% =14.6%÷16.8%) 美術室:26.4%(平均値比82% =26.4%÷32.2%) 工作室:20.4%(平均値比78% =20.4%÷26.3%) 音楽室:55.2%(平均値比113% =55.2%÷48.9%) 和室 志野:18.5%(平均値比133% =18.5%÷13.9%) 和室 織部:24.9%(平均値比106% =24.9%÷23.6%) 陶芸室:15.7%(平均値比98% =15.7%÷16.1%) 多目的ホール:51.2%(平均値比100% =51.2%÷51.1%) | 4点 |
| | | | | 5 | 平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 平均値比(102%)=利用人数(延べ117,430人)÷114,800人(上記(2)適用) | 平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 | 105%未満~95% 4点 年次報告書P.201(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H29年度実績)÷(過去1年間実績平均値)) 学習室101:4,414人(平均値比95% =4,414人÷4,654人) 学習室501北:9,079人(平均値比97% =9,079人÷9,387人) 学習室501南:13,251人(平均値比108% =13,251人÷12,223人) 学習室502:8,218人(平均値比104% =8,218人÷7,912人) 学習室503:1,486人(平均値比79% =1,486人÷1,870人) 学習室504:4,515人(平均値比110% =4,515人÷4,112人) 学習室505:3,818人(平均値比89% =3,818人÷4,311人) 学習室506:1,629人(平均値比90% =1,629人÷1,818人) 学習室401:1,705人(平均値比124% =1,705人÷1,375人) 学習室402:4,740人(平均値比99% =4,740人÷4,810人) 学習室403:293人(平均値比215% =293人÷136人) 視聴覚室:2,421人(平均値比87% =2,421人÷2,797人) 美術室:4,491人(平均値比74% =4,491人÷6,104人) 工作室:2,594人(平均値比77% =2,594人÷3,372人) 音楽室:8,052人(平均値比107% =8,052人÷7,544人) 和室 志野:3,297人(平均値比124% =3,297人÷2,652人) 和室 織部:3,981人(平均値比113% =3,981人÷3,514人) 陶芸室:1,271人(平均値比93% =1,271人÷1,374人) 多目的ホール:22,528人(平均値比103% =22,528人÷21,958人) | 4点 |
| | | (2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15) | 15 | 仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点 ①多治見市桔梗大学 入校式 230人参加 教養講座、長寿を祝う会 桔梗大学文化祭「文化祭」展示部門 9クラブ 112点 750人、ステージ部門 5クラブ 250人 ②多治見市美術展 1,815人 ・一般の部:日本画・洋画・工芸・彫塑・写真・書道・デザインの7部門 355点の応募 ・子どもの部:市内の3歳児から中学生まで926点の応募 ・学校作品展 絵画・書(市内幼稚園、保育園、小学校が参加) 1,645点の出品 ③大学連携講座「現代中国の流行語と社会」(中部大学文化科学研究所) | 仕様書以上 14点 ・高齢者の方のいつまでも学びたい気持ちに応えた、細やかな支援ができた。 ・桔梗大学の一般公開講座を開催することで、単発だから参加しやすい状況をつくりだすことができた。 ・美術展の出品数は、昨年より増えた。昨年度比77点増 | 14点 | | |
| (3)自主事業の企画・運営・実施(15点) | 15 | 内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点 年次報告書P.205~232(文化事業一覧) ・ヤマカまなびパークサマーフェスタ2017 500人 超大型絵本がやってくる!、地元音楽家によるコンサート、としよかん謎とき探検ツアー ・Mama's学生食堂 1階喫茶室との連携事業 ・アンガーマネージメント「怒りと上手に付き合うコツ」33人(市共催) ・多治見のまちづくり支援「諏訪貴子」講演会 「経営・組織活動応援特別セミナー」108人 ・ウエルカム1 30講座 ・たじみオープンキャンパス、プライベートカレッジ(春・夏・秋・冬) ・夏休みなりきり体験講座 たじみごっこ(6講座) ・生涯学習講座 まなびの森(春・夏・秋・冬)20講座 ・60代倶楽部 31講座 ほか | 期待以上 14点 ・学習館が中心となって、複合施設であることの特徴を活かした3館連携事業を実施することができた。 ・賑わい創出に不可欠という視点から「学生食堂」を支援。これからの利用につながるものとなった。 ・立地条件を考えた動きの第一歩となる、ブームを先取りする形でのセミナー開催となった。 ・オープンキャンパスは、一歩上をいく講座を開催し、ニーズに応えた多くの講座を実施している。 | 14点 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------|--|--|---|--|--|--|-------------------------------|--------------------|-------------|
| 2 | 施設管理状況 (25点) | (1)施設管理業務の実施状況(10点) | ①清掃 | 10 | 年次報告書P224(維持管理業務) 定期清掃、日常清掃を実施。 | 適正(普通) 2点 | 適正に実施されている。 | 10点 | |
| | | | ②保守・点検 | | ①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 | 年次報告書P234、235(維持管理業務) ・自家用電気工作物保安管理(月1回) ・エレベータ設備保守点検(月1回) ・消防設備点検を実施(年2回) ・空調機器設備保守点検(年4回) ・直流電源装置保守点検(年2回) ・駐車管理装置保守点検(年4回) ・音響保守点検(年2回) | 適正(普通) 2点 | | 適正に実施されている。 |
| | | | ③保安・警備 | | ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点 | 機械警備業務を委託して実施。 | 適正(普通) 2点 | | 適正に実施されている。 |
| | | | ④小規模修繕 | | 年次報告書P235~237(有償修理の内訳) ・有償修理 全31件 総額 6,799,178 円 | 年次報告書P235~237(有償修理の内訳) ・有償修理 全31件 総額 6,799,178 円 | 適正(普通) 2点 | | 適正に実施されている。 |
| | | | ⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵) | | ・職員による目視及び機器のシステムチェックによる日常点検を開館時、お客様利用時、閉館時に実施し、危険箇所についての把握に努めている。 ・危険箇所が確認された場合には、迅速な修繕に努めるとともに、修理完了までの期間は掲示を行うなどお客様の安全確保を第一とした対応を行っている。 | ・職員による目視及び機器のシステムチェックによる日常点検を開館時、お客様利用時、閉館時に実施し、危険箇所についての把握に努めている。 ・危険箇所が確認された場合には、迅速な修繕に努めるとともに、修理完了までの期間は掲示を行うなどお客様の安全確保を第一とした対応を行っている。 | 適正(普通) 2点 | | 適正に実施されている。 |
| | (2)その他管理業務の実施状況(15点) | ①文書管理 | 15 | ・ファイリングシステムを導入し、情報管理。 ・問合せにも迅速に対応できるよう、文書情報の整理にも力を入れている。 | 適正(普通) 2点 | 適正に実施されている。 | 11点 | | |
| | | ②環境への配慮 | | ・館内照明のLED化を進め、電力使用量の削減に取り組んでいる。 ・ゴミの分別徹底、資源化、文書印刷の抑制や印刷時の裏紙利用などで資源の有効活用に取り組んでいる。 ・館内環境快適化キレイ空間づくりの推進 | 期待以上 3点 | ・適正に実施されている。 ・快適性を感じられる施設環境が整えられている。 | | | |
| | | ③バリアフリー | | ・高齢者や障がい者の移動を妨げないように動線の確保に努めている。 ・1階及び地下駐車場入口に車椅子を設置。 | 適正(普通) 2点 | 適正に実施されている。 | | | |
| | | ④備品管理 | | ・備品台帳に基づき、各備品を適切に管理、利用者ニーズに応えるための備品の更新を的確に行っている。 ・始業前巡回点検時に、机やいすなど什器類の点検を実施し、不具合がある場合は設備員による原則即日修理対応(時間を要する場合は代替品の用意)をとるなど、利用者への影響を最小化するよう努力している。 | 適正(普通) 2点 | 適正に実施されている。 | | | |
| | | ⑤個人情報保護 | | ・「個人情報保護に関する方針」を策定し、その基準に基づき取り扱っている。 ・個人情報を含む書類等をキャビネットに保管し、廃棄する際はシュレッダーで裁断、直接処分場へ持ち込み焼却処分。必要以上の個人情報を収集は行わないようにしている。 | 適正(普通) 2点 | 適正に実施されている。 | | | |
| ⑥事故等への対応 | 0 | 事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点) | 救急搬送対応 1件 | 事故なし・対応に不備なし 0点 | 適正に対応されている。 | 0点 | | | |
| 3 | 当該施設の経営状況 (5点) | ①事業収支 | 5 | 当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点 | 収入287,166,459円÷支出299,587,519円=96%(図書館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む) | 100%未満 3点 | 事業収支は、96%となっているが、修繕の費用増によるもの。 | 3点 | |
| 4 | より良い施設運営のための取組 (30点) | (1)市民・利用者の声の反映 (15点) | ①ニーズの把握・事業への反映 | 10 | 期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点 | ・様々なデジタル機器が使用できる環境を整備してほしい。 →スマートフォンやパソコンなどを活用した活動が増加していることに合わせ、新機能を搭載、明るい場所でも見やすいプロジェクターなどの機器の導入。多様なメーカーの機器に対応可能な接続コードを揃えた ・ヤマカまなびパークで行う自主学習環境を更に充実させてほしい。 →4階学習コーナーの土・日曜日の利用時間をこれまでよりも更に2時間延長し、午後8時まで利用できるように変更。4階学習コーナーの椅子・机の更新し、多くの利用者が学習に専念できる環境を整備。 | 期待以上 9点 | 要望に対し、迅速かつ適正に対応した。 | 9点 |
| | | | ②苦情対応 | 5 | 期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする | ・1階地下駐車場に駐車されたお客様が在庫時に駐車券を失くされ、「駐車券紛失ボタン」で連絡しようとしたが、装置が設置当初から機能を有しておらず、スタッフの対応が遅れた。 一車から降りなくても連絡が取れる位置に係員呼び出し用インターフォンを設置し、精算時のトラブルに迅速に対応できるようにした。 | 苦情なし・適正(普通) 4点 | 苦情に対し、迅速かつ適正に対応した。 | 4点 |
| | (2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点) | 15 | 提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点 | 【施設運営・事業実施】 ・今後の施設利用動向に対応し、利用を高める活動の推進 ・付加価値の高い事業活動の開拓 ニーズ、トレンドを分析し、開拓を進めます。 ・新しい視点によるサービス拡充 他企業種などの取り組みなどを参考にしながら、お客様に喜んで施設利用いただけるサービスを創出します。 ・周辺地域活性化のための活動支援体制の構築 ヤマカまなびパークは駅南地区の商業エリアに隣接しています。 現在、連携を進めている周辺地域との関係性を強化しつつ、様々な活動をサポートできる体制の構築を進めます。あわせて、ヤマカまなびパークの1階や周辺地域での賑わいの創出に取り組んでいきます。 【その他の成果】 ・事業者による研修会・セミナー会場としての利用の創設。 ・複合施設として、施設管理も事業実施も中心的役割を果たした。 | 期待以上 15点 | ・より良い施設運営と事業実施の提案がなされている。 ・立地条件を考えての新たな利用提案ができています。(既に提案は実行されている。) ・複合施設の中心的施設として自覚ある対応等ができています。、 | 15点 | | |

| | | | | | | |
|---|----------------------------|-----|--|------------|----------------------|-------|
| 5 その他 (減点方式) | (1)報告書類の提出状況 | 0 | 提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3 | 適正に実施されている | 遅れ・不備なし 減点なし | 0点 |
| | (2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等 | 0 | 指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3 | なし | 指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし | 0点 |
| 合計 | | 100 | 【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下 | | | 合計88点 |
| 全体的な評価 ・中央公民館的な役割を意識して、他の公民館を引っ張っている。 ・複合施設の中心的存在として、施設管理も事業運営も意識して実施している。 ・新たな利用者の獲得のため、いろいろと工夫し、実行している。 ・本当に数多くの事業が実施されている。 ・「まな美・プロジェクト」による施設整備で、より良い施設となった。 ・施設の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、良好に行われている。 | | | | | | 極めて良好 |